

衛俊秀書簡

晉銘 主編



衛俊秀書簡

蘇平 知聲

PDG

(陕)新登字 012 号

书 名 卫俊秀书简
主 编 晋 铭
整 理 傅蔚农
责 编 陈全力
装 幀 建森工作室
出版发行 陕西旅游出版社
西安市长安北路 32 号
经 销 各地新华书店
承 印 陕西画报印刷厂
开 本 889×1194 1/16
印 张 15
版 次 2004 年 10 月第 1 版第 1 次印刷
印 数 1-2000
书 号 ISBN 7-5418-2009-1/J·449
定 价 38.00 元





出版说明

一、本书辑收卫俊秀先生所写各类书简共计 660 封,因时事变迁及卫俊秀先生所遭际的人生苦境,加之“文革”的洗劫,他早年、中年所写的信简皆荡然无存,为保持史料的翔实、全面起见,对所集得的信函未作取舍、修饰,均以原态辑入。

二、书简以编年为序。

三、所收书简中,致柴建国、李耀天、翟品三、李晋林、赵建功、张耀庭信由柴建国先生整理后通过电子邮件发来;致祝嘉先生信根据卫俊秀先生日记中底稿照录;其余书简皆由傅蔚农整理、编校,其中部分书简年代的断定以《卫俊秀日记》所载为准。

四、书简中的明显笔误,予以改正;别字、漏字则加()补入;字迹漫患不清或一时无法辨认者则加□示明;正误一时难辨者则暂予存疑。

五、对有些书简的标点体例,曾作了少量的整理。

六、书简中不统一的字、词、数字,遵循原信,多未改动。

六、对个别书简因出版需要做了相应增删的,已在注中说明。

七、书简中原应注释处,因缺少考据未能全面注明。

八、为完整反映卫俊秀先生的交友情状和人生、艺术概况,特附录“致卫俊秀”和“卫俊秀年表”。

九、卫俊秀先生书简散失尚多,有待于继续进行搜索,故,亟盼亲友们予以支持和协助。

十、因编者水平所限,本书编校仍存诸多缺憾、错误,祈盼读者校正。

又见卫老

——读《卫俊秀书简》

费秉勋

卫老是我心向往之的知识老人之一，我活到现在有许多遗憾，其中之一是没有尽早与卫老结识，既结识又没有抓紧交往，少受了多少精神濡养，成为终生遗憾。如今读着他的书信，这种憾恨有增无已。晋人庾道季说：廉颇、蔺相如虽然是古人，千载之下犹使人感到凛凛有生气。我现在读着卫老的书信，他谦和幽默的长者气态，一下子浮现在眼前，宛如面对其人。

大约有近三十年时间，卫老是被剥夺了通信权的，或者说可以写信，但一写就会招来祸殃。所以他基本是从1979年即古稀以后才写信的，他在衰年写了六七百封信，由于写信之勤，我们通读这些信，即使不读他的日记，也可寻绎出他最后二十五六年的生活轨迹和大致行踪，什么时候去临汾？会见了哪些人？什么时候去了太原？做了哪几件事？哪年哪月哪日回的景村？住了几天？由于什么机缘，结识了哪一个人？哪个月谁来索字？他什么时间给写好寄去的？每次的个展怎样筹备的？他哪些日子感冒？哪些日子做白内障手术住院？等等等等，都可以从这些书信中考索得清清楚楚。

卫老写信之勤，说明着他对亲戚朋友的尊重和爱。收到一个贺年片要回一封信；从亲朋处归来打招呼要写信；由于心系亲朋，所以总是不断写信问候他们，并把自己的平居状况报告给他们。他心里总装着朋友，和他比较，我们比他年轻，比他精力好，却老爷一样的矜懒。我自己常常是受了朋友极大的恩惠，虽也心存感激，但既不会口头表达谢意，又懒于写信表示，无形中造成人情的冰冷。读卫老的信使我感到无比惭愧。“滴水之恩当涌泉相报”，这在许多人只是嘴上说说的愿望罢了，而卫老实实在在躬行了这种古贤倡导的美德。谁替他做了一点事，他总是记在心中，不忘感激，不忘报答。

最近，我的一个同事向我说到他前两年上京办事时，当时已九十二岁的启功老人雨天上门去看他的情境；卫老平时的作派与启功老如出一辙，我们在他的信中能见到许多他枉驾上门会见年轻人的记载。老辈文人这种谦诚虚怀的作

风,现在是越来越看不到了,我觉得这是一种富于魅力的风度,一种精神内充的表现,我愿意踵其前武,厌弃拿板做势,终生尊重别人,包括晚辈的朋友。

一般人到了耄耋之年,唯一重视的就是自我珍摄,心如止水,万事不关于心,而卫老却始终保持着关怀人类、热爱祖国、拥抱艺术、正气凛然的颇似热血青年的心态。一看到书坛上的邪风,他便会洋溢起一种战斗的激情和雄心。看到霸权国家口称民主和平,却颐指气使任意践踏弱国,卫老在九十年代中期以后多次向朋友说他信奉了社会达尔文主义,实际是无奈的激愤。他在近十封信中说过类似这样的话:“人类社会进化,已从文明社会到了‘动物世界’,弱肉强食,狮虎不会自我批评,检讨认错,更不会召集丰狐纹豹兽类大会,成立法庭,公审罪犯。”“看国际风云,达尔文主义不易推倒,安理维和,很像正人作风,却都在竞军备。地震谁也不知道,但地球终有一天会遇到彗星,或不过而自崩毁,只怪万物之灵,不能怨上帝。”在二十多年里,他从《参考消息》等报刊上剪贴了几十本资料,准备写一本挞伐日本军国主义的书,只可惜天不假年,未酬遗愿。这种到老都胸襟寰宇的襟怀,世人中能有几人!

卫老书信可以作为人格教科书和道德教科书来读,当说到他的体力尚好时,他真诚地说:“感谢‘劳教’对我的恩赐!逆境比顺境有益得多!”他晚年虽声闻很高,但却很淡泊,很低调,世俗人很为卫老惋惜,其实世俗人很难进入卫老的精神境界,不可能理解卫老。卫老一生折心《庄子》,《庄子·秋水篇》中写,惠施为梁相,听说庄子要来梁,惟恐夺了他的位置。庄子说,鸱枭嘴里叼一块腐烂的老鼠肉,空中飞来一只凤凰,鸱枭惟恐凤凰抢了它的腐肉,望着凤凰,嘴里发出“吓!”的威胁声,哪里知道凤凰是非练食不食,非醴泉不饮呢!卫老的志向很像庄子。在1994年的一封信中很郑重地写道:“我有一句称心话:无名是福!”1999年5月他在给一个学生的信中说:“钉子是谁也免不了的,可以受到鼓舞,处顺境常使人退步。没有刺激性战斗不起来。”这些从苦难人生中凝铸的哲言,非常精警,简直是金是玉,可以使我们受用无穷。

作为书家,卫老把艺术看得非常神圣,他乐于用自己的作品给人们以精神滋养,而从未想以之招邀名利,这除了他平时磊落的作为,在书信中有着充分的、实际的表现,他这种风范对书坛趋名逐利之风,不啻扫氛除尘的细雨。我们都应当接受这种雨露的沾溉。

目次

一九六八年

- 1 致热闹(3月11日) 1

一九七五年

- 2 致李耀天 张子正(1月8日) 2

一九七七年

- 3 致李耀天(1月1日) 3
4 致李耀天(9月16日) 3
5 致李耀天(11月13日) 3
6 致李耀天(12月4日) 4

一九七八年

- 7 致李耀天(5月12日) 5
8 致李耀天(7月3日) 5
9 致翟大昌(10月6日) 5
10 致李 绵(12月3日) 5
11 致李耀天(12月28日) 6

一九七九年

- 12 致李耀天(3月16日) 8
13 致李耀天(4月23日) 8

蘇子正

PDG

14 致李耀天(6月28日)	8
15 致翟大昌(7月21日)	9
16 致李耀天(7月22日)	9
17 致《襄汾文艺》编辑部(8月2日)	9
18 致李耀天(8月23日)	9
19 致李耀天(9月23日)	10
20 致李耀天(11月1日)	10
21 致李耀天 刘润恩(12月3日)	10

一九八〇年

22 致李耀天(1月6日)	11
23 致李耀天(3月22日)	11
24 致祝嘉(10月24日)	11
25 致李耀天(11月9日)	11

一九八一年

26 致李耀天(1月5日)	13
27 致李耀天(5月23日)	13
28 致卫海洋	13
29 致卫海洋(7月18日)	13
30 致李耀天(8月23日)	14
31 致李耀天(10月29日)	14
32 致卫海洋(11月8日)	14
33 致李耀天(11月27日)	15

一九八二年

34 致李耀天(2月23日)	16
35 致卫玉顺(3月16日)	16
36 致李耀天(9月30日)	16
37 致李耀天(10月9日)	17

一九八三年

38 致李耀天(1月25日)	18
39 致刘润恩(2月2日)	18
40 致刘润恩(3月4日)	18
41 致卫玉顺(3月4日)	18
42 致孙玉石(3月30日)	19
43 致卫玉顺(4月16日)	19
44 致卫玉顺(5月25日)	19
45 致曾立平(7月1日)	19

46 致李耀天(7月23日)	20
47 致曾立平(7月29日)	20
48 致卫玉顺(8月19日)	20
49 致曾立平(8月31日)	21
50 致卫玉顺(9月20日)	21
51 致曾立平(10月9日)	21
52 致卫海洋(10月12日)	21
53 致卫海洋(11月8日)	22
54 致韩左军(11月23日)	22
55 致李耀天(12月16日)	22
56 致卫玉顺(12月20日)	23
57 致陕西师范大学 校党委(12月23日)	23

一九八四年

58 致曾立平(1月3日)	24
59 致卫玉顺(2月8日)	24
60 致韩左军(4月16日)	24
61 致韩左军(5月19日)	24
62 致卫海洋(6月13日)	25
63 致柴建国 樊习一(7月11日)	25
64 致韩左军(7月22日)	25
65 致曾立平(7月26日)	25
66 致卫海洋(8月2日)	25
67 致韩左军(8月10日)	26
68 致校民盟小组(9月14日)	26
69 致樊习一 柴建国(9月20日)	27
70 致韩左军(9月20日)	27
71 致韩左军(11月6日)	27
72 致柴建国(11月25日)	27
73 致柴建国(12月31日)	28
74 致山西师院第三届书 展会负责同志(12月31日)	28

一九八五年

75 致韩左军(1月29日)	29
76 致韩左军(4月3日)	29
77 致李耀天(4月5日)	29
78 致韩左军(5月31日)	29
79 致李耀天(8月3日)	30
80 致柴建国(9月18日)	30

鄧平船

PDG

81 致柴建国(10月29日)	30
82 致陕西省知识分子落实办公室 (11月8日)	31
83 致李殿清(11月16日)	31
84 致朱 影(12月16日)	31
85 致柴建国(12月25日)	32
86 致韩左军(12月28日)	32

一九八六年

87 致韩左军(1月10日)	33
88 致赵建功(2月8日)	33
89 致柴建国(2月8日)	33
90 致柴建国 符成俊(2月24日)	33
91 致韩左军(3月14日)	33
92 致文景明(4月27日)	33
93 致朱 影(5月3日)	34
94 致韩左军(5月3日)	34
95 致柴建国(5月6日)	34
96 致朱 影(5月26日)	34
97 致韩左军(5月26日)	35
98 致李 绵(6月6日)	35
99 致韩左军(6月8日)	35
100 致文景明(6月9日)	36
101 致柴建国 晋扶青 符成俊 (6月15日)	36
102 致朱 影(6月25日)	36
103 致韩左军(7月23日)	36
104 致柴建国(7月28日)	36
105 致韩左军(8月8日)	37
106 致文景明(8月10日)	37
107 致柴建国(8月16日)	37
108 致韩左军(9月15日)	37
109 致韩左军(10月14日)	37
110 致韩左军(11月14日)	38
111 致韩左军(11月28日)	38

一九八七年

112 致韩左军(1月2日)	39
113 致余建良(1月5日)	39
114 致韩左军(2月4日)	39
115 致余建良(2月15日)	39

116 致韩左军(2月26日)	39
117 致李殿清(3月16日)	40
118 致韩左军(4月6日)	40
119 致韩左军(4月21日)	40
120 致韩左军(5月13日)	40
121 致韩左军(6月13日)	40
122 致余建良(6月15日)	41
123 致韩左军(6月21日)	41
124 致韩左军(6月23日)	41
125 致韩左军(7月5日)	42
126 致余建良(7月23日)	42
127 致余建良(8月12日)	43
128 致韩左军(10月6日)	43
129 致韩左军(10月28日)	43
130 致余建良(10月30日)	43
131 致卫海洋(11月21日)	43
132 致余建良(11月21日)	44
133 致余建良(12月1日)	44
134 致余建良(12月14日)	44

一九八八年

135 致余建良(1月6日)	45
136 致余建良(1月21日)	45
137 致余建良(2月12日)	45
138 致韩左军(2月19日)	45
139 致韩左军(2月24日)	45
140 致余建良(3月15日)	46
141 致韩左军(3月20日)	46
142 致韩左军(4月8日)	46
143 致余建良(4月11日)	46
144 致韩左军(4月13日)	46
145 致余建良(5月26日)	47
146 致李殿清(5月28日)	47
147 致韩左军(5月28日)	47
148 致余建良(6月4日)	47
149 致余建良(6月12日)	47
150 致李殿清(6月20日)	48
151 致柴建国(7月4日)	48
152 致李殿清(7月8日)	48
153 致柴建国(7月12日)	48
154 致余建良(7月12日)	48

鄧平

PDG

155 致余建良(7月29日)	49
156 致韩左军(8月24日)	49
157 致韩左军(9月6日)	49
158 致余建良(9月18日)	50
159 致李殿清(9月26日)	50
160 致孙玉石(10月4日)	50
161 致柴建国(10月11日)	50
162 致余建良(10月12日)	51
163 致韩左军(10月19日)	51
164 致孙玉石(10月22日)	51
165 致柴建国(10月28日)	51
166 致韩左军(11月17日)	52
167 致孙玉石(11月20日)	52
168 致卫海洋(11月28日)	52
169 致孙玉石(12月5日)	53
170 致孙玉石(12月15日)	53
171 致孙玉石(12月18日)	53

一九八九年

172 致孙玉石(1月2日)	55
173 致柴建国(2月10日)	55
174 致柴建国 晋扶青(2月20日)	55
175 致柴建国(3月14日)	55
176 致余建良(3月21日)	56
177 致柴建国 晋扶青(4月2日)	57
178 致余建良(4月28日)	57
179 致柴建国(6月20日)	57
180 致余建良(6月30日)	57
181 致余建良(7月16日)	57
182 致李殿清(7月21日)	58
183 致李殿清(8月2日)	58
184 致余建良(8月12日)	58
185 致余建良(9月5日)	58
186 致韩左军(9月5日)	58
187 致柴建国(9月12日)	59
188 致李殿清(10月21日)	59
189 致韩左军(10月22日)	59
190 致余建良(10月28日)	59
191 致钟明善(11月□日)	59
192 致秦洪彦(11月22日)	60
193 致柴建国(12月10日)	60

194 致余建良(12月10日)	60
195 致赵鼎新(12月25日)	60

一九九〇年

196 致卫海洋(1月18日)	61
197 致李殿清(1月19日)	61
198 致李殿清(1月24日)	61
199 致柴建国(1月24日)	61
200 致余建良(1月29日)	61
201 致余建良(2月18日)	62
202 致柴建国(3月13日)	62
203 致张耀庭(3月13日)	62
204 致韩左军(3月24日)	62
205 致卫海洋(3月25日)	63
206 致韩左军(4月6日)	63
207 致翟英(4月8日)	63
208 致钟明善(5月29日)	64
209 致卫海洋(6月6日)	64
210 致韩左军(7月30日)	64
211 致余建良(8月10日)	64
212 致韩左军(8月10日)	64
213 致韩左军(8月13日)	65
214 致余建良(9月25日)	65
215 致余建良(10月18日)	65
216 致韩左军(11月10日)	65
217 致曹清如(11月19日)	65
218 致柴建国(11月25日)	66

一九九一年

219 致卫海洋(1月1日)	67
220 致李殿清(1月3日)	67
221 致李殿清(1月6日)	67
222 致卫海珍(1月25日)	67
223 致柴建国(3月16日)	67
224 致卫海洋(3月29日)	68
225 致卫海洋(4月29日)	68
226 致柴建国(6月11日)	68
227 致柴建国(7月5日)	68
228 致李殿清(7月6日)	68
229 致余建良(8月5日)	68
230 致卫海洋(8月16日)	69



231 致柴建国(9月16日)	69
232 致柴建国(10月22日)	69
233 致余建良(10月25日)	69
234 致柴建国(10月26日)	69
235 致卫海洋(11月20日)	69
236 致刘玉苓(12月3日)	70
237 致卫海洋(12月26日)	70
238 致柴建国 李晋林(12月26日)	70
239 致柴建国(12月29日)	70

一九九二年

240 致柴建国(1月6日)	71
241 致刘玉苓(1月18日)	71
242 致柴建国(1月23日)	71
243 致刘玉苓(2月3日)	71
244 致韩左军(2月9日)	71
245 致孙玉石(2月18日)	72
246 致刘玉苓(2月19日)	72
247 致李晋林(3月10日)	72
248 致柴建国(3月13日)	72
249 致柴建国 李晋林(3月18日)	73
250 致韩左军(3月26日)	73
251 致柴建国(3月29日)	73
252 致韩左军(4月1日)	73
253 致柴建国(4月22日)	74
254 致柴建国(5月11日)	74
255 致柴建国(5月25日)	74
256 致柴建国(6月2日)	74
257 致李殿清(6月13日)	75
258 致柴建国(6月15日)	75
259 致柴建国(6月30日)	75
260 致文景明(7月1日)	75
261 致柴建国 李建义(7月6日)	75
262 致朱 影(7月6日)	76
263 致柴建国(7月1日)	76
264 致贾起家(7月17日)	76
265 致柴建国(7月23日)	76
266 致柴建国(8月1日)	76
267 致卫海洋(8月10日)	77
268 致卫海洋(8月16日)	77
269 致孙玉石(8月28日)	77

270 致孙玉石(9月5日)	77
271 致文景明(9月8日)	77
272 致李殿清(9月19日)	77
273 致柴建国(10月1日)	77
274 致赵鼎新(10月6日)	78
275 致梅墨生(10月25日)	78
276 致张坚如(11月13日)	78
277 致柴建国(11月19日)	79
278 致卫海洋(11月20日)	79
279 致狄西海(12月2日)	79
280 致张坚如(12月29日)	79

一九九三年

281 致曾立平(1月10日)	80
282 致卫海洋(1月16日)	80
283 致邓 军(2月1日)	80
284 致卫海洋(2月13日)	80
285 致卫海洋(2月□日)	80
286 致柴建国(4月7日)	81
287 致赵鼎新(4月10日)	81
288 致柴建国(4月19日)	81
289 致王世家(4月25日)	81
290 致李廷华(4月30日)	81
291 致王满道(6月9日)	82
292 致孙玉石 张菊玲(6月11日)	82
293 致卫海洋(7月2日)	82
294 致柴建国(7月6日)	82
295 致柴建国(7月14日)	83
296 致刘玉苓(7月19日)	83
297 致卫海洋(7月30日)	83
298 致柴建国(8月□日)	83
299 致卫海洋(8月10日)	84
300 致邓 军(8月10日)	84
301 致柴建国(8月28日)	84
302 致柴建国 李晋林(9月12日)	84
303 致卫海洋(9月13日)	85
304 致柴建国(9月18日)	85
305 致刘玉苓(9月21日)	85
306 致卫海洋(9月29日)	85
307 致卫海洋(10月12日)	85
308 致卫海洋(10月22日)	86

蘇子卿

PDG

309 致王满道(10月25日)	86
310 致柴建国(10月29日)	86
311 致柴建国(11月8日)	86
312 致邓 军(11月10日)	87
313 致贾起家(11月18日)	87
314 致柴建国(11月26日)	87
315 致姚国瑾(12月11日)	87
316 致卫海洋(12月13日)	87
317 致柴建国(12月16日)	88

一九九四年

318 致李殿清(1月9日)	89
319 致卫海洋(1月12日)	89
320 致梅墨生(1月19日)	89
321 致卫海洋(2月5日)	89
322 致王世家(2月23日)	89
323 致钟明善(2月26日)	90
324 致赵守平(2月28日)	90
325 致卫海洋(3月6日)	90
326 致柴建国(3月8日)	90
327 致赵守平(3月13日)	91
328 致卫海洋(3月16日)	91
329 致柴建国(3月26日)	91
330 致柴建国(4月3日)	91
331 致狄西海(4月6日)	91
332 致柴建国(5月28日)	91
333 致赵鼎新(6月18日)	92
334 致卫海洋(6月18日)	92
335 致柴建国(7月11日)	92
336 致李雪峰 翟 英(8月26日)	92
337 致卫海洋(9月10日)	93
338 致柴建国 樊习一(9月26日)	93
339 致卫玉顺 段金梅(10月2日)	93
340 致赵鼎新(10月4日)	93
341 致卫海洋(10月4日)	93
342 致李雪峰 翟 英(10月10日)	94
343 致赵鼎新(10月26日)	94
344 致赵守平(11月14日)	94
345 致柴建国(11月19日)	95
346 致李雪峰(11月30日)	95
347 致赵鼎新(12月□日)	95